

【普通科】 3年次 【選択】科目 「倫理」授業のシラバス

1 概要

教科名	公民	科目名	倫理	単位数(コマ数)	2(70)
科目の目標	青年期にある生徒に、自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
教科書(出版社)	高等学校 新倫理 新訂版(清水書院)	副教材(出版社)	用語集倫理 新訂第3版(清水書院)		

2 学習の方法

(1) 予習について

授業で取り扱う前後の範囲について教科書を読んでおいてください。複数回読んでおくことが望ましいです。

(2) 授業について

一斉授業で行います。進路や理解度に応じて問題演習・ペアワーク・グループワークなどで課題の設定と追究を繰り返し行い、理解を深めます。

(3) 復習について

授業で取り扱った内容について次のように復習してください。

- ① 授業範囲について教科書を読み、重要語句を確認する。
- ② 授業でわからなかった語句、興味がわいた語句について調べる。
- ③ 教科書の図表を確認する。
- ④ 授業ノートを読み返し、フェイスシートにまとめる。(哲学者・宗教家)

予習よりも復習に時間をかけること、継続することが肝要です。

〈学習アドバイス〉

- ・「思想の流れ」を意識しましょう。ただ単語を覚えるのではなく、関連性をしっかり捉えること。ではありません。ある出来事背景には必ず理由があります。それを追究する姿勢を養えば、倫理はもとより、学習活動全般に活かされる力が身につくでしょう。
- ・倫理は小論文にも生かせる話題がいっぱいあります。教科書で気になった出来事を是非、自分で調べてみるといいと思います。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	授業に対する準備ができる。自己の確立に実践的意欲を持つことができる。自己形成についての関心を高めることができる。
② 思考・判断・表現	自己の確立について、広く課題を持つことができる。人間の存在や価値について、それを多面的・多角的に表現することができる。
③ 資料活用 の 技能	諸資料の収集、読み取りを通して、それらに関する自分なりの意見を表現したり、発表したりすることができる。
④ 知識・理解	人間としての在り方、生き方などに関する基本的事項を理解出来る。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

評価材料		定期考査・単元テスト		小テスト	ノート	フェイスシート	ワークシート	定期考査
観 点	割合							
① 関心・意欲・態度	25%	○	教科書教材の知識等に関わる問題、ノート・ワーク提出、夏季・冬季休業中のレポートなど	○	○		○	
② 思考・判断・表現	25%	○	考査における論述問題、フェイスシート作成		○	○	○	○
③ 資料活用 の 技能	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など		○		○	○
④ 知識・理解	25%	○	教科書教材の知識等に関わる問題など					○

〈担当者からのメッセージ〉

授業での疑問点や成績のこと、単位認定などの不明な点は、いつでも担当の教員に質問してください。それぞれの質問について個別に対応したいと考えています。1年間、一緒にがんばって勉強していきましょう。

【普通科】 3年次 【選択】 科目 「倫理」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	・ 青年期と人間としてのあり方・ 生き方	6	・ 人間とは何か	①	・ 人間と他の動物との違いを理解し、自己形成について関心を高めることができる。	前期中間考查
	人間としての自覚と生き方 ・ 人生における哲学		・ 古代ギリシャ哲学	③	・ 古代ギリシャの思想についての基本的知識を身につけることができる。	
5		8	・	③	・ 古代ギリシャ思想家達の思想の流れを表現できる。 古代ギリシャ思想家達の思想を比較できる	
6	人生における宗教	8	・ 世界3大宗教 古代インド思想	②	・ 3大宗教と古代インド思想についての基本的知識を身につけることができる。	
	・			③	3大宗教と古代インド思想の流れを表現できる。 三大宗教と古代インドの思想を古代ギリシャ思想と比較できる。	
7	人生の知恵	8	古代中国思想	②	・ 古代中国思想についての基本的知識を身につけることができる。	前期期末考查
			。・ 青年期や古代思想について課題を設定し、グループワーク等を通じて探求し理解を深める。	③	古代中国思想を既習の思想家や宗教と比較できる。	
8		4	青年期や古代思想に関する資料を読み、まとめる	①		
9	現代社会と倫理	8	人間の尊厳 自然や科学技術と人間の関わり	②	ルネサンス・宗教改革気候の思想についての基本的知識を身につけることができる。	
				③	ルネサンス・宗教改革気候の思想を古代思想と比較し、表現できる	
後期 10		10	民主社会における人間のあり方	②	啓蒙思想やその時期の他の思想についての基本的知識を身につけることができる。	後期中間考查
				③	啓蒙思想の流れを表現できる 啓蒙思想の特徴を掴み、比較できる	
11		10	自己実現と幸福	②	各思想家の幸福についての基本的知識を身につけることができる。	
			個人と社会とのかかわり	③	各思想家の幸福についての考え方について比較し、表現できる	
				②	社会主義や実存主義についての基本的知識を身につけることができる	
12		6	現代における理性の問題	③	社会主義者や実存主義者の思想について、思想の流れを表現できる	後期中間考查
				③	高度に発達した社会の中で、どのように生きていくことが幸福につながるか、資料から考察することができる。	
1	国際社会における日本人の自覚 現代の諸課題と倫理・	3		③	日本の思想や現代の日本の諸課題に関する資料を見て、比較することで、人間としてあるべき姿を見つめることができる。	
		70				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は資料活用・技能、④は知識・理解を表しています。

【普通科】 3年次 【選択】科目 「倫理」授業のシラバス

※ 授業計画は進度により前後することがあります。